



どがながな 大田市です!!

大田市ふるさと情報誌

VOL.20

2012.2

Contents

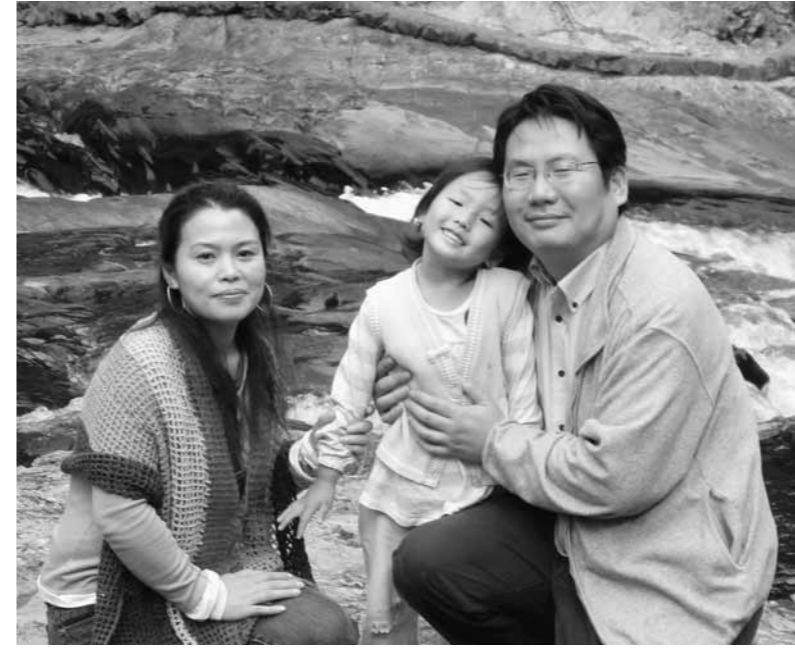
- 2-3P “おおだ暮らし”を楽しむ
- 4-5P 大田市立病院で新たな取り組み
- 6-7P 石見銀山世界遺産登録5周年!!
- 8P OEM生産、お受けします! さんべ食品工業株式会社
- 9P シリーズ石見銀山/ちゃんぼし語録
- 10-11P おおだ情報BOX/大田市空き家情報
- 12P ふるさとは今(ハマナス・静間町)/表紙紹介(鷺の巣)

おおだ暮らしを楽しむ

大田市へのUターン者数は、平成22年度が23世帯、54人、今年度は、22世帯、64人となっています。(平成23年12月末現在)
移住のきっかけは様々です。しかし、移住はその人の人生を変える大切なイベントです。何が起点となるのか、これまでに大田市へ移住された方の中から、お二人の「おおだ暮らし」を紹介します。

クオリティ・オブ・ライフ！

移住は、人生観『生き方』の選択



▲妻の王敏さん、3歳の愛子ちゃんと3人家族で、邑南町の断魚溪へ出掛けたときの様子です

日本の生活から なんとなく中国へ

■神奈川県横浜市出身
小林 久夫さん(38歳)
小中学生の頃は、父が転勤族で北海道から関西と転校をしていたという小林さん。大学を卒業して、JA中央会に就職、地方のJAとの繋がりも多く、島根県にも仕事で幾度か訪れたことがある。根っからの都会育ちでしたが、通勤時間が長く、夜も終電間際に帰宅といった生活に疑問を持ち、9年間努めた職を辞め、中国へ渡る。

特に目的も無く移住した中国では、日本語教師や日系企業の現地雇いなどの仕事に就き、大連から瀋陽など4都市での生活を送り、その間、妻の王敏さんとお会い結婚、長女の出生を機に2年半ぶりに日本へ帰国した。

移住への思い 島根人との出会い

帰国後、サラリーマン生活に戻った小林さんは、中国での暮らしが身体にしみ込んでいたらしい。偶然、秋葉原で開催されていた全国農業会議所主催の農業人フェア会場へ入ったとき、

島根県の人と出会ったとき、



▲石見銀山建設(島根県)で、経営企画部の新規事業を担当する。主にISO、廃棄物処理、入札、渉外など許認可事務だが、中国への新規事業へもチャレンジする会社の橋渡し役として、大きな期待を背負う小林さん。大田市への移住後、仕事に追われる毎日だが、「クオリティ・オブ・ライフ」を満喫している (写真：仕事場での小林さん)

自分本来の生活を 自由気ままに

当初は単身で大森町での生活でしたが、居住基盤が整った昨年3月、家族を呼ぶことが叶い、現在、仁摩町で暮らしている。

中国人の妻、王敏さんは、当初、移住への不安がありましたが、地域や子どもたちとの繋がりに慣れ、生活を満喫している。

「最初からアイラブ島根ではなかった。田舎は捨てたもんじゃない。気に入ったところへ気ままに住むこと」と、現在の生活を楽しんでいる。

考えるより、まず『行動！』 動いて分かることが多い

舞台芸術を目指し 石見神楽に衝撃

■東京都練馬区出身
窪田 真菜さん(23歳)
幼少よりHIPHOPダンスに熱中する中、舞台芸術に関心を持ち、東京から京都の造形芸術大学舞台芸術学科に入学。京都という風土にも憧れ、学生生活を送るなか、温泉津町での「海神楽プロジェクト」へ興味本位で参加した。

石見神楽は、その華々しさと舞台表現をいとも簡単にしている。それも皆地元の人々で構成されており、普段の生活の中にある伝統芸能に強い衝撃を受けたという。

神楽への魅力 動かずにいられない

「石見神楽」に出会って人生観が変わったという窪田さん。大学の4年間、温泉津町の地域のひととの交流をするな



▲農業体験の無い窪田さんは、地元酒づくりグループの世話人会へ加入。今秋、「亀の尾」の稲刈りに参加し、汗だくになりながら、ヨズクハデの制作に初挑戦。(西田ヨズクの里にて)

空気の違う東京から 日々挑戦の時

町の魅力に惹かれて、大田市へ移住後、一年が経つ。やきもの館では、様々な興味をもって温泉津に訪れる方々に、少しでも納得のいく情報提供ができるよう、自分自身も温泉津を知りたいと、日々実体験をしながら、接客業に反映している。

初体験の釣りや農作業も神楽舞につながり、民族的な文化を感じている。

こういった文化や自然環境がある地域に住めて幸せというのが、窪田さんの価値観であり、挑戦の日々を送っている。

提言したい一言

【小林久夫さんから移住希望者へ】
田舎へ住みませんか？だけでは人は来ない。移住希望者には、どこの町も同じように見える。元々ふるさと意識が無い私には、住みたいところを決める手段は、人生観であり、生き方に繋がってくるのだと思います。「クオリティ・オブ・ライフ」をどう感じ取るかだと思います。

【窪田真菜さんから若者へ】
若いゆえに何でも出来ると思います。今は、自分が役立てるポジションを探すため一生懸命です。単に身体表現だけでなく、心の内を表現できるような人になりたい。自分の「生き方」をどう表現していくかが、私を含め若い人達の今後の課題になると思います。



▲NPO石見ものづくり工房(温泉津町)で、地域コーディネーターを担当する。普段は、「やきもの館」の管理運営に追われ、地域との関わりも薄いというが、休暇には、出来るだけ他の市町へ出掛け、情報収集をしている。震災以降、「価値観」が変わり、原点に戻ることを痛感したという (写真：仕事場での窪田さん)

大田市立病院で新たな取り組み

島根大学医学部×大田市立病院



島根大学医学部と連携し市立病院に「大田総合医育成センター」を開設しました



野宗義博センター長（診療室にて）

内に、教育・研究・研修の実践の場として「大田総合医育成センター」を設置しました。

期待される診療体制の充実

現在、大学内に設置された「総合医療学講座」に、全体をコーディネートする石橋豊教授が赴任され、そして、「大田総合医育成センター」に野宗義博（のむねひろ）外科系教授がセンター長として勤務しています。

大田総合医育成センター勤務の教授は大田市立病院に常勤し、研修に求められる

医師の指導のほか、外来での診療や入院されている患者さんの診療、手術も担っています。

センターは、まだ1名体制ですが、4月には、内科系教授1名、外科系准教授1名が新たに赴任予定で、スタッフも増え、一層、センターでの研修体制も、また、市立病院での診療体制も充実できると期待されています。

大学と自治体病院が連携し総合医を育てる取り組みは、全国的にも珍しく、大学の持つ専門性と市立病院が持つ幅広く診療ができる

医師不足と診療機能の低下

大田市立病院では、十年前の平成14年には34名の医師が診療に当たっていましたが、現在では22名まで減少し、整形外科、循環器科などでは、大学からの非常勤の医師等の派遣により診療を維持している状況です。医師不足により診療機能が大幅に低下し、市内をはじめ県央の地域医療は厳しさを増しています。

大田総合医育成センター構想の始まり

大田市立病院

島根大学医学部

●医師不足
医師確保による診療機能の充実

思いの一致

●総合医育成
大学附属病院では難しい総合診療ができる現場の確保

環境をうまく組み合わせ、総合医の育成のモデルケースとしたいと考えています。また、市立病院では、センターで研修された医師が、引き続き、市立病院で勤務してもらえようという魅力ある病院づくりを進め、医師不足の解消につなげていきたいと考えています。

センター長からのメッセージ

センターの総括責任者である野宗センター長は、「センターの教官と大田市立病院の医師が診療科の垣根を外し、ひとつにまとまり、複数の診療科にまたがる医療チームの中で、多くの疾患を初期診療・診断から、高度治療まで、一貫して診療する体制を目指したい。」と抱負を語り、また、「研修医や診療医師に対し「この新しいセンターで、我々と共に一緒に学び一緒に仕事をしましょう。」とセンターでの研修や勤務を呼びかけています。

診療の充実！ 研修医教育の充実！

大田市立病院
(大田総合医育成センター)

島根大学医学部
(総合医療学講座)

- ・総合医育成のため、学生や研修医の指導
- ・診療

- ・総合医のプログラムの研究
- ・医療支援システムの研究
- ・予防医学の研究 など



～大学の医師が常駐～



連携

注目される総合医

今、限られた診療環境の中で、診療科別に診療するスタイルの他に、幅広い診療能力を持つ医師が総合的に診療する総合医が、大きく注目を集めています。

大田総合医育成センタースタート

平成23年10月、島根大学医学部では、大田市からの寄付金を活用し、総合医を育成するための研究を行う「総合医療学講座」を大学内に開設し、大田市立病院

「日米地域医療教育シンポジウム」が開催される

1月19日、大田総合医育成センターの開設記念として、「日米地域医療教育シンポジウム」が島根大学医学部と大田市の共催で、大田市の「あすてらす」を会場に開催され、約250名の市民が参加しました。

このシンポジウムは、大田総合医育成センターへの理解を深めてもらうことと、アメリカのワシントン大学で効果を上げている総合医育成方法を学び、センター運営の参考にすることを目的としたものです。

シンポジウムの中で、センターの生みの親である総合医療学講座の石橋教授が講演で、「4月からスタッフも充実し、本格的に始動する。総合医は大学だけでは育たないし、市立病院だけでも育たない。双方が互いに連携していくことが大切。また、地域に愛着が持てる住みよい環境づくりも大きな要素であり、市民の皆さんや行政のバックアップをお願いしたい。」と市民への協力を呼びかけました。

また、「これからセンターで育っていく総合医は、大田の財産であるとともに、島根県の医療を守る大きな財産になる。」と総合医育成の意義を強調しました。今後、シンポジウムの議論も参考にし、大学と市立病院では、総合医を目指す研修医の受け皿づくりを進めることとしています。



講演する石橋教授

『石見銀山世界遺産登録5周年』

世界遺産登録5周年キャンペーン

まもなくはじまります

石見銀山は、平成19年7月2日に世界遺産登録されており、この度登録5周年を迎えます。

そこで、大田市では、市全体、町の人みなどで、官民一体となり、地域全体を一つとし、ゆっくり巡り、体感できる長期キャンペーンを展開します。

キャンペーン期間は、平成24年6月23日～12月24日までの6カ月間です。石見銀山エリアを中心に大田エリア、温泉津エリア、仁摩エリアの全市で展開します。

市民あげて企画から実施まで、色々とその地ならではの生活や文化の魅力、地域に根付く歴史・産業・自然などの資源を活用し、様々な取り組みを考えています。只今、着々と準備中ですので、ご期待!!

キャンペーン期間中の取り組み

- 1. 缶バッジキャンペーン**
大田市内を周遊してもらうために、参加している観光施設、飲食店等の割引、特典が受けれます。
- 2. 公式ガイドブック**
世界遺産エリアを中心として大田市内全域の観光施設、宿泊施設、お土産など大田市満載の情報冊子です。
- 3. 月別ガイドブック**
キャンペーン期間中のイベントなどの最新情報を毎月毎に製作し、毎月配布します。
- 4. 専用ホームページ**
新しく専用ホームページを作成し、5周年事業の情報を随時アップしていきます。
- 5. 永井裕子さん新曲リリース**
石見の国おだ観光大使の永井裕子さんが、この5周年を記念して、大田市のご当地ソングの新曲の制作が決定しました。また、7月にはコンサートが大田市で開催されます。
詳しくは、歌の駅えんか(☎0854-8212700)
- 6. 世界遺産登録5周年記念式典**
期日：平成24年7月1日(日)
場所：サンレディ大田
問い合わせ：大田市役所石見銀山課(☎0854-8211600代)



1個100円で販売します。
(6月販売開始予定)



「R」は、「G」は丁銀、「W」は海(波)、「M」は山をイメージしており、町・海・山を併せもつ大田市の魅力と楽しみ方の方の幅広さを分かりやすくアピールしています。

使用にあたっては、申請書等の手続きが必要ですが、たくさんの方に活用いただき石見銀山5周年PRにご協力いただければと思います。

また、キャラクターは、全国から800点を超える作品の募集がありました。その中から選考し今回のシンボルとなるキャラクターを決定しました。そこで、このキャラクターのネーミングを募集中です。募集期間は3月10日(土)まで。

石見銀山世界遺産登録5周年事業を応援するかわいらしいネーミングを募集しますので、ぜひ応募ください。

ロゴ使用申請・キャラクターネーミング募集については世界遺産登録5周年事業実行委員会事務局までお問い合わせください。
詳しくは、大田市役所ホームページでご確認ください。

<http://www.city.ohda.lg.jp/2.html>

平成24年6月23日～12月24日開催決定

「石見銀山遺跡とその文化的景観」世界遺産登録5周年 観光まちづくりキャンペーン

世界遺産登録5周年 石見銀山ウオーキングミュージアム

Inzan Walking Museum

石見銀山ウオーキングミュージアムは、「石見銀山遺跡とその文化的景観」世界遺産登録5周年をきっかけに、市民の力を合わせて大田市の活性化に取り組む、全市的な観光まちづくりキャンペーンです。大田市には石見銀山をはじめ、町・海・山の随所に魅力ある歴史や自然、文化などがあふれています。これらを観光資源として活用し、訪れる人に大田市をゆっくりと巡り地域の魅力を体感頂くことで、持続的な地域振興をめざします。

「石見銀山遺跡とその文化的景観」世界遺産登録5周年事業実行委員会

事務局：〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111 (大田市産業振興部観光振興課)
TEL 0854-82-1600(代) FAX 0854-82-9150

'10

石見銀山 フォトコンテスト

優秀作品紹介

全国から188点の応募があり、その中から選考された作品の一部を紹介!!

最優秀賞 銀山夏日
藤江松男(出雲市)



優秀賞 秋光
天津義久(大田市)



「藤井保」賞 閑寂
嶋川運盛(尾道市)



優秀賞 海面下の遺構
佐々木祐子(江津市)



『OEM生産、お受けします!』

さんべ食品工業株式会社

昭和7年、ラムネなどの清涼飲料水の製造販売を開始、戦後からはコンニャクも手掛け、彼岸市の10円ジュースでもおなじみの食品製造メーカー。近年は、地元農産物のジャムや炭酸飲料を製造すると共に、※OEM（受託製造）も積極的に展開しています。お伺いした大田駅通りのひなびた店構えの奥には、甘い香りと製造現場の活気があふれていました。

「炭酸飲料の製造メーカーは少ない?」

炭酸飲料をつめる機械があるのは、山陰では、当社だけ。10円ジュースと同様、古い機械を直しながら使ってきました。

昔は、クリームソーダ、リング牛乳なども製造し、大田高校にも専用の自動販売機がありました。しかし、大手メーカーの自動販売機が普及し、当社はラムネだけに。3年前に眠っていた機械を整備し、サイダーを始めました。



自社ブランドのサイダーは、梅・紫蘇・柚子の3種類。いずれも無香料無着色で地元農産物を使用

「柚子サイダーはANA機内販売で大好評だったとか」

益田市美都町特産の柚子を使ったサイダーを受託製造しました。美都町の道の駅で販売開始の後、ANA

で販売されることに。昨年8月の終わりから本格的に製造を始め、美都町での波及効果も含め、機内販売期間の3ヶ月で約3万本が売れたようです。

そちらが落ち着いた今は、地元三瓶産わさびのサイダーを試作中。加熱すると、香りがなくなるなど課題がありますが、乞うご期待。
「ジャム製造にも力を入れておられますね」

ジャム事業のスタートは、OEM。県内はもとより関東でも多くの取引があります。少量でも試作しますので、声をかけてください。

自社ブランドは、「家庭でお母さんが子供たちにつくるような気持ちでつくろう。」という思いで『スイート



食用蓄薇を生産する(株)大田緑地(長久町)とのコラボレーション商品
蓄薇シロップとジャムは、

ママ』と名づけました。ブルーベリー、梅、甘夏、イチゴ、さつまい芋の5種類が基本。売れ筋は、さつまい芋。ネット販売は、テレビで紹介されたおかげで、蓄薇ジャムの注文が増えました。



地元のさつまい芋と蜂蜜でつくった、芋みっ煮。芋コンフィチュール(ジャム)と共に大田ブランド認証商品

「いもづるネットワークのお世話もしておられますね」

芋代官こと「井戸平左衛門」にちなみ、さつまい芋を大田を代表するブランドに育てようという取り組みです。加工販売業者を中心に組織していますが、農家の方とも連携しながら、もっと広めたいです。

『芋代官』の商標は登録済みですが、商品は焼酎、羊羹などにとどまっておらず、市内で、もっと幅広い商品の開発が期待されます。

当社も、従来のジャムなどに加えて、さつまい芋を使ったコロツケと芋麴を使った商品が完成し、これから売り出していきます。これからも、地域の特産品を使った、様々な商品づくりに挑戦していきます。



社長の勝部邦彦さんとスイートママこと妻の佐和子さん。笑顔の素敵なお二人から、温かみのある商品が生まれる

さんべ食品工業株式会社

大田市大田町大田1403-5
TEL 0854-82-0863
FAX 0854-82-6686

さんべ食品工業 検索

※OEM：発注元企業のブランドで販売される製品を製造すること。また、そのようなメーカー

石見銀山（石見国大森代官）の名代官といえ、皆さん『芋代官』として有名な井戸平左衛門の名前が浮かぶことと思います。井戸平左衛門は、その「善政」で知られる人物ですが、当時の幕府が高く評価した「名代官」を一人、ご紹介します。

寛延2年（1749）に大森代官となった天野助次郎は、大森代官の中で最も出世をしたと考えられる人物です。助次郎は小禄しょうろくの旗本の出身ですが、『寛政重修諸家譜』によれば、先祖は大代三河松平氏みかわまつだいらに仕えており、家系としては徳川家康の古くからの家臣として有名な天野康景の同族にあたります。

さて、助次郎の大森での事跡として記録に残るのは、現代でいうところの「公務員制度改革」でした。

銀産出の衰えた大森では、銀山繁栄時から慣例的に地元で世襲された役人（地役人）の数が多く、代官所の財政を圧迫していました。

このことは助次郎の着任する70年以上前からの積年の課題となっていました、それまで何人も代官が、慣例による身分保障を訴える地役人の

抵抗などにより改革に失敗していたのです。

そうした中で大森代官に着任し、勘定奉行から人員削減の指示を受けた助次郎は、その世襲の慣例を「悪習」と断じ、地役人は本来一代限りの身分と確認したうえで全員を解雇、希望者のみ再雇用する改革を断行したのです。これによって地役人の2割が減り、代官所の運営は大いに改善されたといえます。

その後の助次郎は、信濃国中野しなののくになかのの代官を経た後、勘定吟味役（幕府財政全体の会計検査官）に出世します。一般にはこの勘定吟味役が家格の低い旗本の役職の到達点となる例が多く、この時点で出世を極めたと言って良いものでしたが、さらには禁裏付（朝廷の監督役）として、一般大名と同官位となる諸大夫まで出世を続けました。

家格で厳しく統制されていた江戸時代において、代官職を務めるような小禄の旗本が諸大夫まで出世するのは極めて異例のことで、助次郎のほかにも両手で足りる程度の人数しかいません。大森でも発揮した助次郎の優れた行政手腕が買われたのだと言えるでしょう。

【問】石見銀山世界遺産センター ☎0854-89-0183 ホームページ <http://ginzan.city.ohda.lg.jp/>

ちゃんぽし語録⑬

大田市内の一部のまちづくりセンターでは古いひな人形を集めて展示するイベントが行われます。

Aさんもお孫さん(B)を連れてやって来たようです。

【対訳】

- A: 見てみんさい、えっとひなさんを並べて、ほんに見栄えがするでな。
 B: ほんにまげだわ。そいだが、ばばはひなさん持って無いだかな？
 A: 昔はひとりわってにゃあ、持っとらへんだったけえね。
 B: そがだ!?
 A: だけえ、ひなさんがある家におなごしでよって、ひなさんさせてもらいよっただ。だけえこがしてよりゃ、懐かしいだに。
 B: そらほんに祭りだだな。
 A: そがだけ。ええべべ着てお菓子持って行くだけな。
 B: そいだが昔のひなさんはあんましかわゆうないな。
 A: そがなことないでな、流行りすたりがああだけ。今と昔じゃ違うだに。
 B: そんなら、昔はじもええおとこだっただかな？
 A: まあそがな、せがらかすだないわね。

- A: 見てごらん！たくさんひな人形を並べて、ほんとうに見栄えが良いね。
 B: ほんとうに見事だね。でも、おばあちゃんはひな人形は持って無いの？
 A: 昔はひとりごとには持っていないかったからね。
 B: そうなの!?
 A: だから、ひな人形がある家に女の子たちで集まって、ひなまつりさせてもらっていたの。だからこうして集まると、懐かしいのよ。
 B: それは本当に祭りなんだね。
 A: そうね。いい服を着てお菓子を持って行くからね。
 B: でも昔のひな人形はあまりかわいくないね。
 A: そんなことないのよ、流行り廃りがあるんだから。今と昔じゃ違うの。
 B: それなら、昔はおじいちゃんもイケメンだったの？
 A: まあそんな、からかうんじゃないの。

ひな人形をみるとなぜか心がうきうきしますね。昨年はまちセンにお茶やお菓子を持ち寄って、ひな飾りの前でお茶会をする方もおられましたよ。

みなさんのお宅にも眠っているひな人形がありませんか。今年はぜひ飾ってみてはいかがでしょうか？

みんな！ 待っとなるでな～

田舎体験ツアー ※広島発着送迎 日帰りバスツアー お土産付き



★桜の里づくり応援ツアー

期日 5月6日(日)
場所 三瓶町志学上山
定員 80名
参加料 3,000円
(小学生2,000円、幼児無料)
5,000本の桜の下草刈り体験や山菜採り、三瓶温泉などをお楽しみいただきます。

[問] 大田市役所まちづくり推進課 ☎0854-82-1600 (内線211)



★国立公園「三瓶山」で米作り

期日 5月12日(土)
場所 三瓶町池田
募集定員 25名
参加費 4,000円
(小学生2,000円、幼児無料)
田植え体験や山菜採り、三瓶温泉などをお楽しみいただきます。9月には稲刈り体験ツアーも予定しています。

酒仙蔵人・五郎之会 酒米(亀の尾)の田植え

期日 5月12日(土) 予定
場所 温泉津町西田の水田
棚田とヨヅクハデ景観の保全に燃える同会の田植えが行なわれます。
飛び入り参加も大歓迎！
[問] 若林酒造(有)
☎0855-65-2007

石見グランfond2012 (通称:石見ライド)

日時 5月13日(日)
場所 受付、スタート・ゴールは久手海水浴場(大田市)
参加費 8,000円 ※事前申込が必要です。
石見地方の絶好のロケーションの「石見山塊・往還コース(200km)」を駆ける、自然と一体に、そして石見の歴史文化を体感するサイクリングイベントです。
[問] NPO法人サイクリストビュー ☎0852-21-3920



大代高山会の ホームページが できました！



大江高山や大代町の情報が盛りだくさんですよ!!

ホームページアドレス
<http://www.oetakeyama.com/>

大江高山 検索



おおだ情報BOX

石見銀山 梅まつり

期日 3月4日(日)～11日(日)
 場所 石見銀山公園ほか(大森町)
 坑夫たちを鉱山病から守った梅。今でも大森には梅の木がたくさんあります。梅の花が見ごろを迎えるなか梅の種飛ばし大会など様々なイベントが企画されています。
 [問] 大田市観光協会
 ☎0854-89-9090

三瓶山西の原火入れ

期日 3月24日(土)
 場所 三瓶山西の原
 三瓶山の防火対策と草原の維持再生を目的に毎年この時期に行われています。大草原に立ち上がる炎は見る者を圧倒し必見です。
 ※見学自由
 [問] 大田市役所農林水産課
 ☎0854-82-1600(内線251)

大代小学校閉校記念イベント

期日 3月18日(日)
 場所 大代小学校
 今年度末で閉校となる大代小学校で閉校式が行われます。
 大代小ふるさと学習発表や卒業写真の展示、壁画・記念碑の序幕式、三中吹奏楽部の演奏などが予定されています。
 [問] 大代まちづくりセンター
 ☎0854-85-2204

三瓶山山開き

期日 4月22日(日)
 場所 三瓶山西の原
 登山の安全を祈念し、自然と人間の結びつきを高めるため、三瓶山山開きが行われます。
 新緑の三瓶山を登ってみませんか。
 [問] 大田市役所観光振興課
 ☎0854-82-1600(内線233)

春の彼岸市「中日つあん」

期日 3月20日(火・祝)、21日(水)
 場所 大田市駅通り
 大田市民会館駐車場など
 昔は、農民の日用品の交換・農具市・牛馬市などを主としていましたが、現在では、植木市など約2kmにわたって、300近い露店が並びます。
 『おおだブランド』屋台村も出店!!
 [問] 大田商工会議所
 ☎0854-82-0765



やっぱいおおだ! 大田市空き家情報

(平成24年1月26日現在)

 ⑪	賃売区分	構造		⑫	売却	
	所在地	住宅面積	敷地面積		金額	特記
 ⑫	売却	久手町	220.13㎡	646.76㎡	700万円	閑静な場所にある大型住宅で、大家族向けの物件です
 ⑬	売却	久手町	336.74㎡	1351.98㎡	1900万円	国道9号沿いの旧店舗併用住宅です。切り売りも可能です
 ⑭	売却	鳥井町	126.85㎡	429.06㎡	500万円	古民家住宅です。玄関、キッチン等は8年前にリフォーム済みです
 ⑮	売却	鳥井町	139.99㎡	225.82㎡	700万円	住宅のはす向かいに旧店舗があり、一括売却となります
 ⑯	売却	五十猛町	123.76㎡	260.82㎡	500万円	木造瓦葺2階建 五十猛海岸まで徒歩1分。2階の窓をあけると日本海がひろがります
 ⑰	売却/賃貸	三瓶町池田	72.41㎡	181.81㎡	120万円 月1.3万円	木造瓦葺平屋建 即入居可能ですが、浴室給湯器を入居者負担で設置する必要があります
 ⑱	売却	温泉津町温泉津	194.02㎡	145.12㎡	600万円	木造瓦葺2階建 浴室はありませんが、近くに公衆浴場(温泉)があります
 ⑲	売却/賃貸	温泉津町温泉津	75.88㎡	60.91㎡	80万円 月5千円	木造瓦葺2階建 駐車場と浴室なし。駐車場賃貸可。近くに公衆浴場(温泉)があります
 ⑳	売却	仁摩町馬路	205.51㎡	1022.49㎡	650万円	木造瓦葺平屋建 畑(290㎡)との一括売却ですので、農地の取得できる方に限ります
 ㉑	賃貸	仁摩町大国	124.57㎡	1023.38㎡	1,100万円	木造瓦葺平屋建 UIターン者専用。リフォーム済みの日当たりの良い物件

Uターン、Iターンなど定住についてのご相談や空き家情報についてのお問い合わせは『おおだ定住支援センター』までお願いします。空き家物件の現地案内もいたします。(※物件所有者との調整が必要ですので、必ず事前にご連絡をお願いします。)

今回掲載していない物件もありますので、詳しくはお問い合わせください。
 空き家情報は“おおだ”の定住サイト『どがどが』でご覧いただくことができます。

どがどが 検索

大田市内にまだまだ使える空き家を所有してはいませんか? 「空き家」を活用することは、家を適切に管理することであるとともに、定住人口の増加や地域の活性化へとつながります。

みなさんの大切な資産である「空き家」を有効活用されませんか?

ご相談・お問い合わせは『おおだ定住支援センター』<大田市役所まちづくり推進課内> (☎0854-82-1600)



静間町の近藤ヶ浜には、日本海岸における自生西限地として島根県の天然記念物の指定を受けているハマナスの群生地があります。

ハマナスは北海道に多く、日本海側では島根県以北、太平洋側では関東以北の海岸の砂地に自生する落葉低木です。5～7月（近藤ヶ浜では5月上旬が見頃）、枝先に紫紅色の花をつけます。浜梨（ハマナシ）と名付けられ、それがなまってハマナスになったといわれています。

近藤ヶ浜のハマナスは年々株が少なくなってきましたが、このハマナスを絶やさないようにと願う地域の皆さんに守られ、花を咲かせています。



ハマナスの花

地元静間町ではハマナス愛護少年団が昭和41年に旧静間中学校生徒により結成され、同中学校の二中統合に伴い、現在では静間小学校児童へ活動が引き継がれています。また、「静間町の名所旧跡を守る会」が竹で砂防柵を作るなど、約30年に渡り保護や育成活動に取り組まれています。今年も地域の皆さんはハマナスの開花を楽しみに待っています。

＝静間町近藤ヶ浜への行き方＝

「静間平口」のバス停がある国道9号交差点から県道静間久手停車場線を300m。交差点を左折し、静間小学校方面へ西進360m。近藤ヶ浜入口（看板あり）から海岸へ150m。

JR大田市駅から車で約15分。

詳しくは、静間まちづくりセンター（☎0854-84-8122）まで

表紙

あの頃～^{さぎす}鷺の巣（昭和15年頃）～

表紙は昭和15年頃の写真です。

鳥井町の木村公治さん（76歳）、大垣弘さん（72歳）にお話しを聞かせていただきました。

鷺の巣は鳥井浦のシンボルでした。小中学生の頃は、ずいぶん鷺の巣の絵を描きました。

港から沖に出る時、入港する時の航路標識として大切な役割をしておりました。鳥井港の沖は一带に暗礁があって、知らない船は通ることができません。鷺の巣と三瓶山がピシッと重なり合うところを用いて暗礁の間を通ります。この航路は通所の間と呼ばれ、船にGPS機能が付いている今でも鷺の巣跡に立っている柱を使って目で確認しています。（木村公治さん）

※暗礁…岩石などにより周囲よりも浅くなっている水域のこと

鷺の巣は頂上に立っている松の木に鷺が巣を作ったことから、鷺の巣と名付けられたと聞いています。船越坂から下る時にも鷺の巣は見えていました。

平成4年9月17日に鷺の巣が大きく崩れて、あの雄姿も大きく変わってしまいました。その日は鳥井小学校の児童が屋外活動で訪れていましたが、子どもた

ちが鷺の巣に登っている時だったら、大惨事を招くところでした。さらに崩れる恐れがあり、気を付けなければならぬと感じたことを覚えています。

翌年3月には、安全のため、高さを低くする工事が始まりました。町民に親しまれてきた鷺の巣の形が変わっていくのを見て、寂しさの様なものを感じました。危険な作業を巧みにこなしておられましたが、変わりゆく様子をビデオにでもおさめておけばと後で思ったりもしました。（大垣弘さん）



現在

今は当時の鷺の巣の高さを表す白い柱が立っています

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行 / 大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-matidukuri@iwamigin.jp <http://www.city.ohda.lg.jp/>

“おおだ”の定住サイト「どがどが」 <http://www.teiju-ohda.jp/>

どがどが 検索